

# ビブリオバトルで 全国準優勝!!

1月11日(日)読売新聞東京本社 よみうり大手町ホールにおいて全国高等学校ビブリオバトル2014決勝大会が開催され、7月の中国大会で優勝してこの大会への出場権を獲得した榎一真君が半年の準備期間を経て、紹介する本『わたしが正義について語るなら』（やなせたかし著）の発表に磨きをかけて臨みました。

決勝大会は全国9ブロックの地区大会の優勝者等である16名が発表者として参加しました。地区大会とほぼ同様のルールで、予選通過者が決勝で競う形式で行われました。

まず、4人ずつに分けた4つのグループで予選が行われ1位で決勝戦に進出し、緊張の様子も見られず堂々とした発表で持ち味を発揮し、質疑応答の場面でも的確な返答をしました。「自然体でスピーチしていて説得力があった」、「正義や幸せについて考えることの大切さを教えてもらった」など観覧者からの感想が新聞に掲載されていました。

見事準優勝という栄冠を勝ち取り見事な活躍で喜びに浸る半面、決勝の場に立てたので優勝を狙っていたのに惜しくも逃したという悔しい気持ちもあったようです。

表彰式終了後、最上階にある皇居を見渡すことができる眺望のよい会場で、ゲストとして参加された詩人の和合亮一氏、作家の角田光代氏を交えて学校関係者との交流会が開かれました。決勝で闘った4名のスピーチがあり、榎君は入賞した喜びと周囲の人たちへの感謝の気持ちを述べていました。

「ビブリオバトル」とは、人に読むことを薦めたい本を5分間発表し2～3分の質疑応答を経て、発表を聞いた人が読みたかった本を多数決で決めるというルールの「知的書評合戦」と称されるものです。



予選での発表



決勝戦での発表



入賞者とゲストの記念撮影



決勝大会に参加した生徒とゲストの記念撮影



交流会でのスピーチ